

# 会 議 録

会議等の名称	令和3年度第7期第1回 東御市ネットリテラシー教育推進協議会	開催日時	令和3年10月12日（火） 13時25分～15時30分
		場 所	中央公民館 講義室
主催者(事務局)	教育委員会 教育課 青少年教育係	司会者	山邊課長、小林会長（議事進行）
出席者	<b>【審議会委員】</b> 会 長 : 小林経明 副会長 : 石和大 委 員 : 荻原慎一郎、清水拓之  <b>【事務局】</b> 教育長 : 小山教育長 庶 務 : 山邊課長、増田係長、小菅青少年健全育成専門指導員		
欠席者	寺島努、長谷義博、竹内裕子		

会議事項	(議題)	(配布資料)
	委嘱書交付	
	会長・副会長選出	
	令和2年度ネットリテラシー教育実績について	
	令和3年度ネットリテラシー教育進捗について	
	令和3年度インターネット利用に関するアンケート調査結果について	
	総合教育会議でネットリテラシー教育について	
決定事項 (要点を箇条書き)	1 会長・副会長選出	
	会長：小林経明 様      副会長：石和大 様	
	2 ネットリテラシー教育推進について	
	総合教育会議(10/12)の結果を踏まえ、ネットリテラシー教育の進め方を以下のようにする	
	① 正しい情報の取得の仕方の教育。	
	② 効率的なフィルタリングのあり方。	
	・フィルタリングのあり方を検討していく。（必要最小限なフィルタリングをするものの、それ以上の防御はリテラシー教育で対応する。）	
	3 インターネット利用に関するアンケートについて、来年度に向けに下記項目を追加する。	
	・使用時間（テレビの時間の追加）	
	・自分が使えるスマホを持っていますか（実質的に使用しているのは誰なのか）	
・知り合った人がいるか（フォローレベルか、出会いレベルか分かるようにする）		
次回の検討事項	令和4年度ネットリテラシー教育計画について	

討議内容及び経過	発言者名	発言内容(要点のみ記載)
1 開会	課長	開会
2 あいさつ	教育長	小山教育長から委嘱書交付。
3 協議事項	小林会長	<p>① ネットリテラシー教育推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日12日午前9時30分からの総合教育会議のネットリテラシー教育での決定事項の説明。</li> <li>・各小・中学校の教員、PTAより上がった意見などから、ネットリテラシー教育で再検討が必要と言うことになった。</li> </ul> <p>論点は2つあり、</p> <p>①フェイクニュース</p> <p>「何が正しくて、何が正しくないか」がよく分からない人が多い。例えば「あるHPによると・・・」という記事は、検証が出来ないので信用できない。逆に「東御市教育委員会のHPによると・・・」の場合は、確認できて出所が分かるので、信頼できる。審議できない情報は正しいとも、違うとも言えない。</p> <p>②フィルタリングを強化して欲しい(先生、PTAより)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入っていけないサイトについてフィルタリングする場合、有名なサイトはブロックできても、海外など含めると無数にありブロックしきれない。フィルタリングについてはキリが無く無理なので、何が正しくて、何が正しくないかの情報を見極め、自らを守る教育が必要。</li> </ul>
	事務局	<p>東御市青少年健全育成条例の確認</p> <p>(インターネット利用環境の整備) 第22条</p> <p>2 インターネットを利用することができる端末設備(以下「端末設備」という。)を公衆の利用に供する者は、当該端末設備を青少年の利用に供するに当たっては、フィルタリング(インターネットを利用して得られる情報について一定の条件により受信するかどうかを選択することができる仕組みをいう。)の機能を有するソフトウェアの活用その他適切な方法により、有害情報を青少年が閲覧し、又は視聴することを防止するよう努めなければならない。</p>
	小林会長	この点については、刻々と変化するネット環境を検証しながら見極めていく。
	荻原委員	フィルタリングは網の目で、フィルタリングだけに頼るのは危険である。リテラシー教育で何が良否なのかの教育を今から具体的に作っていかないと收拾がつかなくなる。
	小林会長	第22条2に・・・努めなければならない。とあるが、リテラシー教育で補うという考えでよいか。
	荻原委員	条例を制定した(H20)頃はこのような表現で問題なかった。今はそこだけに頼らない、自ら守るためのリテラシー教育が必要である。
	清水委員	情報発信者にもそれなりの責任を持っていただきたいが実情は違う。
	石和副会長	子ども達がこれから育っていくには批判的に物事を見る力を付ける必要が

		ある。防止とか予防で無く、リテラシー力をつける教育が必要である。
	小林会長	議論したことは以下の2点で、 ① 正しい情報取得の仕方の教育。
		② 効率的なフィルタリングのあり方。 今までも、ネット上の危険性を子どもに合わせない方向ですすんできた。 これからも、正しい情報を見極められるようにする。
	② その他協議事項	
	小林会長	令和2年度ネットリテラシー教育実績について説明。
	事務局	昨年度の2月に報告済みです。確認として次第に載せたので確認願います。
	小林会長	令和3年度ネットリテラシー教育進捗について説明。
	事務局	今年度はスローガンの部分を小学生と中学生で分けた。 小学生向け：「正しく使おう インターネット」 ～未来の自分達を守るため何をすべきか考えよう～ 中学生向け：「正しく使おう SNS」 メイン事業ではタブレット導入により、⑤セキュリティー教育の拡充を 昨年度より追加され、本年度も引き続き行います。
	小林会長	令和3年度インターネット利用に関するアンケート調査結果について説明。
	事務局	子どもとメディア信州によるアンケートと東御市独自のアンケートを集計 したものです。 (内容については別紙参照)
	小林会長	ネットで知合い出会うのが一番の問題であり、ここを喚起して欲しい。 ネット使用時間について、この時間にさらにテレビ時間が加算されるのか ネット、テレビの使用時間、家族と見るか等調査して相関関係を見たい。
	石和副会長	あなたは自分が使えるスマホを持っていますかについて、家族との共有に ついて、たまに借る程度か、親名義でもほぼ独占的に使っている程度か 実態を把握する必要がある。 インターネット上で知り合った人がいますか、についてSNS上で登録した ら、これは知り合った人にカウントされる。
	小林会長	SNS上でツイッターをフォローするのは当たり前の時代。実際に会うこと、 会ってもいいと思うことが問題である。具体的なSNS名を挙げて、ここで 知り合った人の数字が欲しい。 課金は親の責任である。
	清水委員	共有のスマホにより親の知らないところで課金する可能性があるので、共有 は注意すべきである。
	荻原委員	知り合ったについて、フォローレベルか、知合いレベルか、出会いまでのレ ベルか、見極めが難しい。
	石和副会長	タブレットのパスワードがみんな同じという学校があるが東御市はどうか？
	小林会長	東御市はそれは無いです。 事務局では色々出た内容を参考にアンケートを考えてください。
4 閉会	石和副会長	閉会の言葉